

NPO法人 成育環境研究開発機構 分科会 アジアクラブ第3回議事録

- ・開催日時 平成21年9月17日（木） 15:00～17:15
- ・場所 大阪市中央区高麗橋3丁目1-11 日宝淀屋橋ビル3階
- ・講演 「ベトナムの今と明日」
 - 講師 中井 光 様（弁護士・中井 光法律事務所、IBPC大阪ネットワークセンター専門アドバイザー）
 - 1995年 弁護士登録
 - 2000年 日越経済交流センター・ベトナム法研究会メンバーとして「ベトナムの投資・税制・会計・監査」を著すなど幅広く活躍されている。

- ・参加者 12名（会員7名、会員推薦5名）

- ・講演の要旨

私は弁護士になって15年。国内では主に会社関係の労務や会計等の訴訟に携わっている。弁護士に就いて15年目になるが中国での天安門事件時代に中国の法律を既に勉強されていた中国法律の専門家でパイオニアでもある関西大学村上教授からベトナム法律を勉強するように、と一種の“業務命令”を受けた。95年ベトナムへの投資ブームがうねりはじめ96年はその動きが活発していた時だった。私も個人的にはベトナムが好きで興味深いと思っていたので、以降、ベトナムのことで依頼された企業や行政や投資について相談に応じたり現地に赴いたりしている。仕事を通じて知ったベトナムについて、資料の中身に拘らずにお話させていただきたい。

ベトナムという国を皆さんはどういう国と認識されているでしょうか。経済が著しく発展している国ということもありますが、ベトナム戦争があった国というのが皆さんの世代では強いのではないでしょうか。中国、アメリカ、ベトナムが戦ったベトナム戦争ですが、現地ではこれをアメリカ戦争と呼んでいる。ベトナム戦争と言っても通じますがそれを知る世代は少なくなってきた。私は42歳ですが中学や高校時代、難民のボートピープルや映画などでベトナム戦争を知った世代である。

ベトナムは急成長した国の一である。日本とベトナムとの繋がりは古い。「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」という古い歌がありますがこの歌はハノイの地で詠まれたのではないかと言われている。当時中国の隋に渡った遣隋使は三度失敗しているのですが流されてハノイに着いている。ハノイは中国の支配下にあって後漢の滅亡後に天下を三分した魏・蜀・吳の蜀の時代に諸葛孔明がベトナムに遠征している。歴史は非常に古いということが解る。紀元1世紀の頃に当時の中国は現在のアメリカのような存在だったはずですが、戦争してその中国に勝っている。当時、女性は男子に比べて非常に

強かったと言われている。女性を「ヴァ～」と云い、字に直すと「婆」書く。男子は「ウオ～」と云い、字に直すと「翁」書く。もともと日本と同じように漢字文化の国である。漢字で日本とは通じている。中国と戦った二人の姉妹がいるのですがハイ・ヴァ～・チュンという名前はハノイなど通りの名前にもよく使われている。戦争は中国軍と違いゲリラ戦法を用いており 2000 年の歴史がある。湿気のない乾燥地帯の米軍が湿気の多いベトナムで、ゲリラ戦法を用いる国と戦争して悩まされたのだ。

漢字は現在では殆ど使われていない。漢字そのものが難しいからである。アルファベットが使われている。これを持ち込んだのは植民地の宗主国だったフランス。当初は抵抗したが、植民地から独立するには識字率を高め必要があるという考えがあつて、アルファベット使用は広まっていった。資料の最後のページにある写真の文字は、「タン タオ グループのエリア」と読むが、K H U (区) C O N G (工業) N G H I E P (エリア) T A N T A O とベトナム語では書く。漢字を当てはめていくとベトナム語は作り易い。発音は難しく、使われた符号によって発音も意味もちがってくる。交渉事には通訳を使うが日常の会話は気持の持ち方で意思交換はなんとかできる。伝えようとする気持が大事であると強調しておきたい。

●ベトナムの概要（参考・資料 2 ページ）

- ・国名 ベトナム社会主義共和国
- ・人口 8616 万人（日本：1 億 2700 万人・2008 年）

日本は 1.5 倍。都市部に約 30%, 地方部に約 70% 住んでいる。票は地方部で、政策は都市部でとのスタイルは、20 年前の自由民主党の基盤に似ている。
- ・面積 329,000 平方 km (日本：377,930 平方)

南北に細長く、東側には長大な海岸線を有する。
- ・民族 キン族（京族）90%、53 の少数民族

少数民族の Identity を尊重するために民族の数だけの法律を整備中である。
- ・政治体制 社会主義共和制（共産党一党独裁）

ベトナム共産党は少数エリートとして官僚の上部に存在。民主党の国家戦略室に似ている。
- ・行政区分 58 省 + 5 直轄都市
(ハノイ, ハイフォン, ダナン, ホーチミン, カントー)
- ・気候 北部：亜熱帯性気候（四季有り） 23.4 度（年間平均気温） 湿気有り
南部：熱帯性気候 26.9 度（同）
(日本: 14.5 度、大阪：17.2 度)

●ベトナム人についての雑感

私は外国出張する際には観光も面白いがそこで生活している人と出会って会話するのを楽しみにしている。

- ・識字率 96% 識字率は高い。漢字を捨てたことが成功している。
- ・南北問題 対アメリカ戦争（いわゆるベトナム戦争）、その後の独立戦争に由来。南ベトナムに住んでいると出世できない。就職できない。大学にいけない。南北問題の悲しい現実がある。ミッション等でベトナムに同行したときレストランに行くことがある。そこで働く英会話の勉強している女性が話しかけてくる。変な発音をするのでそのことで会話している中で、彼女等は給料（当時）4000円の月給中から2000円を授業料に使って英会話の勉強をしているとわかった。日本人は所得の半分を払い勉強に行っているだろうか。レストランに働く若い女性が勉強して日本語の会話もしている。それには底辺に南北問題があるように思った。彼女等主流以外の人達は国営の企業に就職できない。大学に行けない。外国企業に就職希望しているからである。日本、英国、韓国などの企業に就職する。これらの人たちによってベトナム経済は支えられてきたといえる。

1986年の共産党全国大会で宣言がだされた。ドイモイ（刷新）政策である。南北戦争後10年間は支援がないなかで統一戦争をする。南はカンボジア、北は中国という具合に太平洋戦争以来約40年間戦争を続けてきていた。国土は疲弊してしまった。働き手がいない。道端で5~6人集まって麻雀に良く似た遊びをしている横で奥さんは働いている。男は兵隊に、女は農業、商売して家族をささえるために働く。日本とは逆の現象で、国として、男がいない半分は女性といったなかで女性は力強く働き、南は虐げられている。その中でベルリンの壁崩壊後の世界情勢なかで92年経済政策が出されて93年に封鎖解除された。封鎖解除は社会主义国に限られていが96年から97年、97年法と呼ばれている法律の制定で投資が開始された。日本、台湾、シンガポール等の都市がクローズアップされてきた。

- ・働く人たちは一生懸命に働き、勉強する。自己成長を目指す。自分のために働き同じやり方をしたくない独立志向の強い人たちである。逆に、このような独立志向を上手に使って工夫して効果をあげた日本の進出企業もあった。勉強熱心、お金も勉強に使う。
- ・義理堅さ 地縁血縁を大事にする。一族の中で司法試験に合格するような人には一族がお金を出し合う。出された人はできる立場になったときは一族の就職の世話をし、学費を出してくれた伯父叔母の面倒を背負う。
- ・その場限り？ 拘りを持って仕事をきっちりと仕上げる。本人が納得さえすれば与えられた仕事の責めはシッカリ果たす。
- ・うそつきが多い？日本人もうそつき？大切なことは価値基準が違う。したがってコミュニケーション不足に由来することが多い。

●ベトナムの貿易額

- ・輸出入総額 輸出 626 億 8500 万 U S \$
 輸入 807 億 1400 万 U S \$ 貿易赤字 181 億 U S \$
- ・対日輸出入総額 輸出 85 億 3700 万 U S \$
 輸入 82 億 4000 万 U S \$
- ・国別輸出額 (2008 年)
 - アメリカ合衆国 11,869 億 U S \$
 - 日本 8,538 億 U S \$ 原油
 - 中国 4,536 億 U S \$
 - オーストラリア 4,225 億 U S \$
- ・国別輸入額 (2008 年)
 - 中国 15,652 億 U S \$ より安い国から
 - シンガポール 9,393 億 U S \$ ガソリン購入
 - 台湾 8,363 億 U S \$
 - 日本 8,241 億 U S \$

●ベトナムの貿易品目

- ・主要輸出品目 (2008 年)
 - 原油 10,357 億 U S \$ 国の東側に海底油田在る
 - 縫製品 9,120 億 U S \$
 - 履物 4,768 億 U S \$
 - 水産物 4,510 億 U S \$
 - 米 2,894 億 U S \$
 - 木材、木工品 2,829 億 U S \$
 - 電子製品・部品 2,638 億 U S \$
- ・主要輸入品目 (2008 年)
 - 機械・設備備品 13,994 億 U S \$
 - 石油製品 10,966 億 U S \$ 自前のコンビナートがない。
 - 鉄・鉄くず 6,721 億 U S \$
 - 織布 4,458 億 U S \$
 - 肥料 1,473 億 U S \$
 - 自動車 (乗用車) 1,040 億 U S \$
- ・胡椒、カシューナッツの輸出量は世界第 1 位
- ・米、コーヒーの輸出量は世界第 2 位 (第 1 位は、米がタイ、コーヒーがブラジル)

●ベトナム対日貿易品目

・主要輸出品目（2008年）

原油	2,177億U.S.\$	10年前から第1位・輸送コスト
水産物	830億U.S.\$	殆どがエビ
木材,木工品	378億U.S.\$	
電子製品・部品	375億U.S.\$	
履物	137億U.S.\$	
コーヒー	127億U.S.\$	

・主要輸入品目（2008年）

機械・設備備品	2,445億U.S.\$
鉄,鉄くず	1,041億U.S.\$
電子製品（PC等）	928億U.S.\$
織布	355億U.S.\$
石油製品	332億U.S.\$
自動車（乗用車）	144億U.S.\$

●ベトナムのこれから

・国家の方向性（共産党の一党独裁国家である。決められた方向に動く）

工業国志向　　満場一致ではない。農業立国を目指せという世論もある。

海外からの投資誘致　安定した国で危険度はタイやインドネシアと違い低い。

・方向性の維持力

議員は農村部出身が多い⇒一党独裁。しかし、農村部も工業化によるメリットを享受。

維持力→堅固

・個人の方向性

ドイモイ（刷新）政策（1986年）に取り組んだ世代からドイモイのもとに育った世代へ変わってきた。いわゆるベトナム戦争を知らない世代に移ってきてる。このため経済観念を持ち、損得勘定も厳しい。

・社会インフラの変動

大学が乱立している。大学の認可を取らない専門学校の類も多く存在している。人材を雇用するときは人の見極めの必要性が高くなっている。

●ベトナム投資で気をつけること

- ・ ベトナムは2～3年前までは株式、不動産が北京オリンピックで急騰し、貸室賃料が4倍に値上がりした部屋もある。中国経済が落着いたとき安易な土地ファンド投資は危険である。ベトナム投資に気をつけなければならない。損失を出された企業もある。中国同様に常に真剣勝負で簡単に儲かるウマイ話は無い。異なるマナー、異なる価値観を受け入れる大きな度量が成功には必要である。
- ・ 日本人が日本人をだます。回線は国家独占であるので携帯電話を作らせて売る商売は大きくはならない。ヤミの市場である。これが市場開放されたためこの商いはなりたくなってしまった。目先の金集めに日本人を対象にした投資先を探している話が多い。気をつけていただきたい。
- ・ 投資額は本社に余力ある範囲で投資してほしい。「もうちょっと」、「もうちょっと」は失敗する危険がある。「もうちょっとでも大丈夫」の考えで投資してほしい。
- ・ 工業団地は八十幾つもあるが玉石混合？だ。よく確認してほしい。投資した会社が開発中に倒産してしまい、投資した金を取り返してほしいとの相談を受けたこともあった。国内法の定めにより提携した弁護士に任せたが、裁判に勝っても土地は山の中にある物件だったこともあった。また、インフラ、特に電気が弱いことだ。ハノイから車で2時間、ベトナムが売り出した場所の海外投資セミナーに参加したとき、「電気は大丈夫か」と聞けば「もちろん」と、実は「発電機を持ち込み、電気代はかかるがね」と言っている。よく事前に調査してほしい。そのような中にあって住友商事さんが開発された工業団地にはキャノンさん来ておられるなどすでに埋まってしまい続く第2工業団地もほぼ完売されたと聞いている。ハノイに近く、電気も火力発電所建設は日本企業で行われるのべトナムNO1工業団地として投資セミナー視察団がよく訪問している。
- ・ ベトナムは観光も美しい国だが、国内の元気さを感じ取っていただきたい、とお願いして私の話を終えたい。（拍手）

なお当日、中井先生がベトナムビジネスに関連する資料を配布いただいたが、時間の関係でふれられなかった主なものを紹介すると、

- ・ベトナムに関する弁護士の役割
- ・ベトナム投資に関する法の2本柱
- ・ベトナム投資に関する法体系
- ・その他、投資形態と企業運営の多様化など詳細な資料をご用意いただきました。

また、講演いただいたあと、参加者を交えて活発な意見交換もおこなわれましたが議事録は割愛させていただきました。

以上 完



講演中の講師・中井光弁護士



中井光弁護士と参加者との質疑応答